

交付運用報告書

グローバル変動金利債券ファンド（毎月分配型） 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース 〈愛称〉 ヘンリー毎月

追加型投信／海外／債券

作成対象期間（2016年10月21日～2017年4月20日）

第28期（決算日 2016年11月21日）	第29期（決算日 2016年12月20日）
第30期（決算日 2017年1月20日）	第31期（決算日 2017年2月20日）
第32期（決算日 2017年3月21日）	第33期（決算日 2017年4月20日）

受益者のみなさまへ

第33期末（2017年4月20日）		
	円ヘッジありコース	円ヘッジなしコース
基準価額	9,743円	9,359円
純資産総額	37百万円	45百万円
第28期～第33期 （2016年10月21日～2017年4月20日）		
	円ヘッジありコース	円ヘッジなしコース
騰落率※	0.9%	5.5%
期中分配金合計	60円	60円

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「グローバル変動金利債券ファンド（毎月分配型）円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース」は、このたび第33期の決算を行いました。

当ファンドは、各国政府・企業等が発行する外貨建ての変動金利債券等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧方法＞

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先

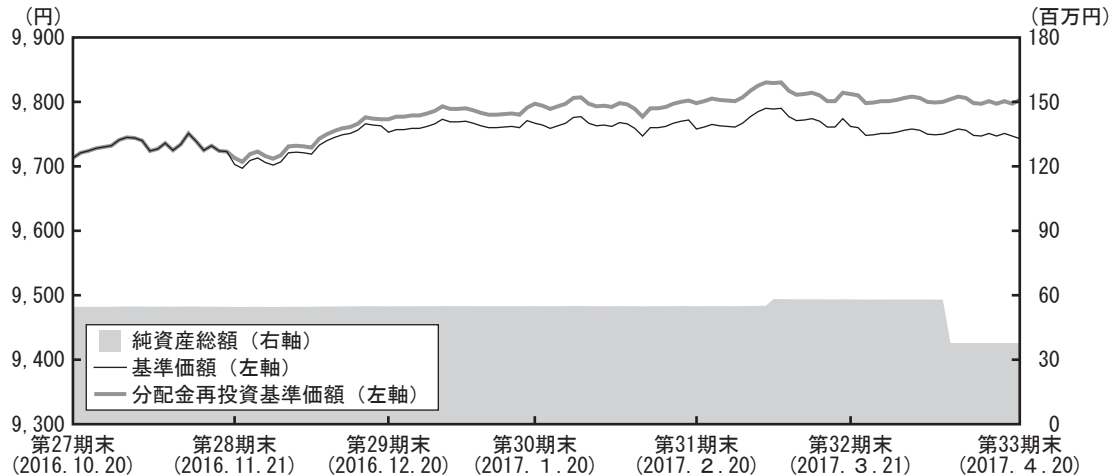


クライアントサービス第二部 0120-69-5432
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

運用経過

■ 基準価額の推移

（円ヘッジありコース）



第28期首：9,713円

第33期末：9,743円（期中分配金合計60円）

騰落率：0.9%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2016年10月20日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

（円ヘッジありコース）

高位に組み入れていたマザーファンドの債券のキャピタル（価格変動）要因やインカム（利子）要因がプラスに寄与しました。対円で為替ヘッジを行っていたため、為替の動きによる影響は概ねニュートラルとなりました。

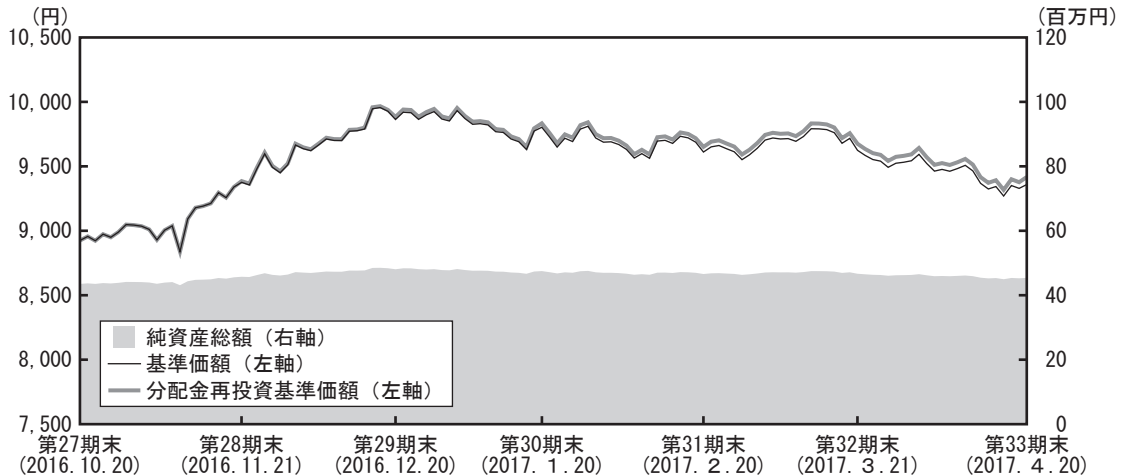
（グローバル変動金利債券マザーファンド）

期中の騰落率は+6.2%となりました。

投資対象の債券において、キャピタルゲイン（価格変動益）やインカムゲイン（利子収入）がプラスに寄与しました。加えて、保有通貨である米ドル、ユーロ、ポンドが対円で上昇し、プラスに寄与しました。

■ 基準価額の推移

（円ヘッジなしコース）



第28期首：8,925円

第33期末：9,359円（期中分配金合計60円）

騰落率：5.5%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2016年10月20日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の変動要因

（円ヘッジなしコース）

高位に組み入れていたマザーファンドの債券のキャピタル（価格変動）要因やインカム（利子）要因がプラスに寄与しました。加えて、保有通貨である米ドル、ユーロ、ポンドが対円で上昇し、プラスに寄与しました。

（グローバル変動金利債券マザーファンド）

期中の騰落率は+6.2%となりました。

投資対象の債券において、キャピタルゲイン（価格変動益）やインカムゲイン（利子収入）がプラスに寄与しました。加えて、保有通貨である米ドル、ユーロ、ポンドが対円で上昇し、プラスに寄与しました。

■ 1万口当たりの費用明細

（円ヘッジありコース）

項目	第28期～第33期		項目の概要
	(2016年10月21日～2017年4月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	46円	0.472%	(a) 信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,752円です。
（投信会社）	(20)	(0.208)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(24)	(0.242)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.021)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.011	(b) その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(1)	(0.008)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	47	0.483	

（円ヘッジなしコース）

項目	第28期～第33期		項目の概要
	(2016年10月21日～2017年4月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	45円	0.472%	(a) 信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,569円です。
（投信会社）	(20)	(0.208)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(23)	(0.242)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.021)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.012	(b) その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(1)	(0.008)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	46	0.484	

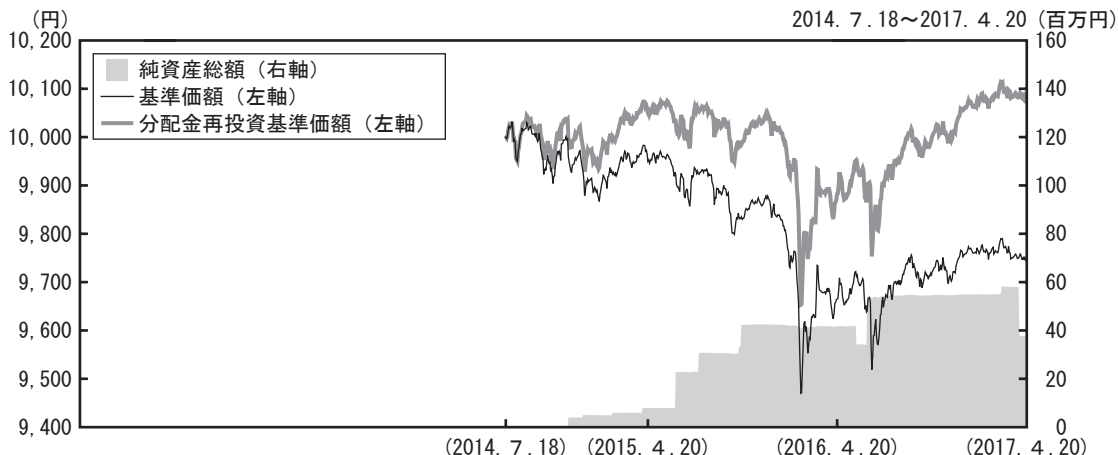
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、各ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、各ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■最近5年間の基準価額等の推移

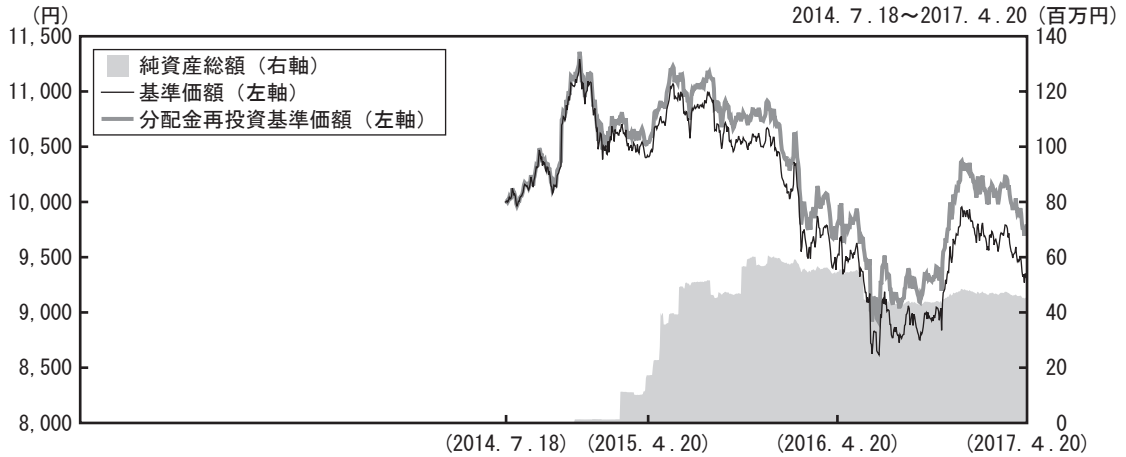
（円ヘッジありコース）



- ・分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日		2014年7月18日 設定時	2015年4月20日 決算日	2016年4月20日 決算日	2017年4月20日 決算日
基準価額	(円)	10,000	9,950	9,665	9,743
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	100	120	120
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	0.5	△ 1.7	2.1
純資産総額	(百万円)	0.1	7	41	37

（円ヘッジなしコース）



- ・分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日		2014年7月18日 設定時	2015年4月20日 決算日	2016年4月20日 決算日	2017年4月20日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,409	9,509	9,359
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	135	180	145
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	5.4	△ 7.0	△ 0.0
純資産総額	(百万円)	0.1	17	54	45

■投資環境

期初は、11月の米国大統領選挙において、市場の予想に反して共和党のトランプ候補が勝利したことを受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、グローバル変動金利債券市場は下落しました。しかし、その後、米国の今後の経済政策への期待が高まったこと等から、グローバル株式市場が上昇する中、グローバル変動金利債券市場も上昇しました。2月中旬以降も、好調な米国の経済指標や企業決算等を背景に、米国株式市場が史上最高値を更新する中、グローバル変動金利債券市場も堅調に推移しました。期末にかけては、フランス大統領選挙を巡る不透明感等から、グローバル変動金利債券市場は上値の重い展開となりました。

為替市場は、11月の米国大統領選挙後に米国の利上げ観測が強まったことから、米ドルが大きく買われた中で、主要通貨に対して円安が進行しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

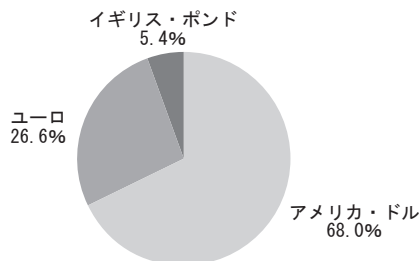
（円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース）

各ファンドの運用については、両コースともに、グローバル変動金利債券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。円ヘッジありコースでは、対円を為替ヘッジを行っております。

（グローバル変動金利債券マザーファンド）

先進国の優良企業が発行する変動金利債券を中心に、一部固定金利債券の組入れによるポートフォリオを維持しました。投資対象とする債券は、取得時においては発行体格付けが投資適格の債券で、通貨は米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建てのものとし、発行体の分散を図りました。ファンドの資金流入に対しては、その時点で投資魅力度の高い銘柄の組入れを図り、債券組入比率は高位を保ちました。ポートフォリオのデュレーションは1.5年未満とし、金利上昇リスクを抑制しました。

グローバル変動金利債券マザーファンドの通貨別構成比



(注1) 比率は、第33期末における組入債券評価額に対する割合。
 (注2) 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

（円ヘッジありコース）

（円ヘッジなしコース）

各ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■分配金

（円ヘッジありコース）

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、合計60円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

<分配原資の内訳>

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
	2016年10月21日 ～2016年11月21日	2016年11月22日 ～2016年12月20日	2016年12月21日 ～2017年1月20日	2017年1月21日 ～2017年2月20日	2017年2月21日 ～2017年3月21日	2017年3月22日 ～2017年4月20日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
（対基準価額比率）	0.10%	0.10%	0.10%	0.10%	0.10%	0.10%
当期の収益	10	10	10	10	10	9
当期の収益以外	—	—	—	—	—	0
翌期繰越分配対象額	131	140	145	147	149	148

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（円ヘッジなしコース）

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、合計60円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

＜分配原資の内訳＞

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
	2016年10月21日 ～2016年11月21日	2016年11月22日 ～2016年12月20日	2016年12月21日 ～2017年1月20日	2017年1月21日 ～2017年2月20日	2017年2月21日 ～2017年3月21日	2017年3月22日 ～2017年4月20日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
（対基準価額比率）	0.11%	0.10%	0.10%	0.10%	0.10%	0.11%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,301	1,312	1,314	1,316	1,320	1,323

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

（円ヘッジありコース）

グローバル変動金利債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。原則として対円で為替ヘッジを行います。

（円ヘッジなしコース）

グローバル変動金利債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。

（グローバル変動金利債券マザーファンド）

引き続き、綿密なクレジット分析による選別的な投資により、先進国の優良企業が発行する変動金利債券を中心に、一部固定金利債券の組入れによるポートフォリオを維持していきます。

■お知らせ

（円ヘッジありコース）
（円ヘッジなしコース）

○信託報酬を引き下げることが受益者に望ましいと考え、委託者および受託者の信託報酬の総額を、純資産総額に対して年率0.91%（税抜）から、年率0.81%（税抜）に変更するため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2017年3月1日）。

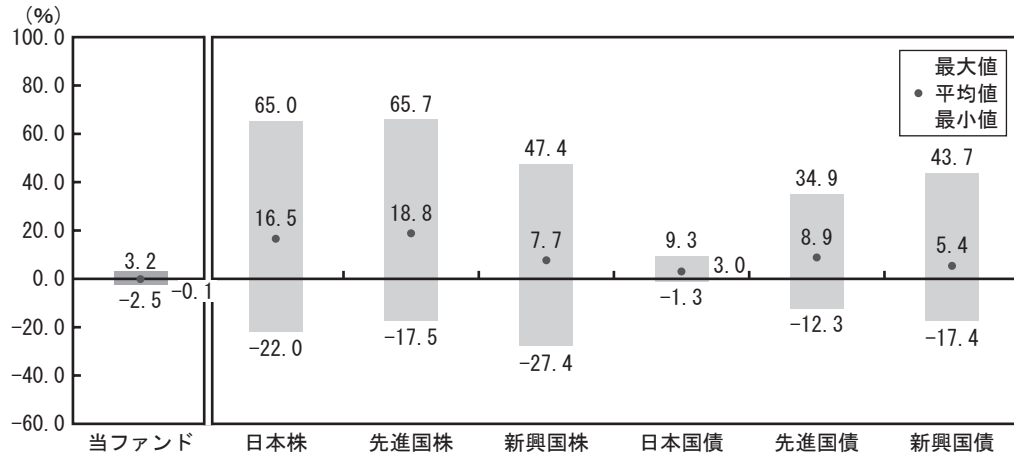
■当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年7月18日から2019年4月19日まで	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的とします。	
主要投資対象	グローバル変動金利債券 ファンド（毎月分配型） 円ヘッジありコース	グローバル変動金利債券マザーファンド受益証券
	グローバル変動金利債券 ファンド（毎月分配型） 円ヘッジなしコース	
	グローバル変動金利債券 マザーファンド	各国政府・企業等が発行する外貨建ての変動金利債券等
運用方法	<p>①主として各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券等に分散投資を行います。マザーファンドにおける、債券の運用指図に関する権限を、ユニオンバンク・オブ・スイス・エスエーに委託します。</p> <p>②「円ヘッジありコース」と「円ヘッジなしコース」があります。</p>	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>	

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較

（円ヘッジありコース）

※当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



期間：当ファンド 2015年7月～2017年3月
 代表的な資産クラス 2012年4月～2017年3月

*上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

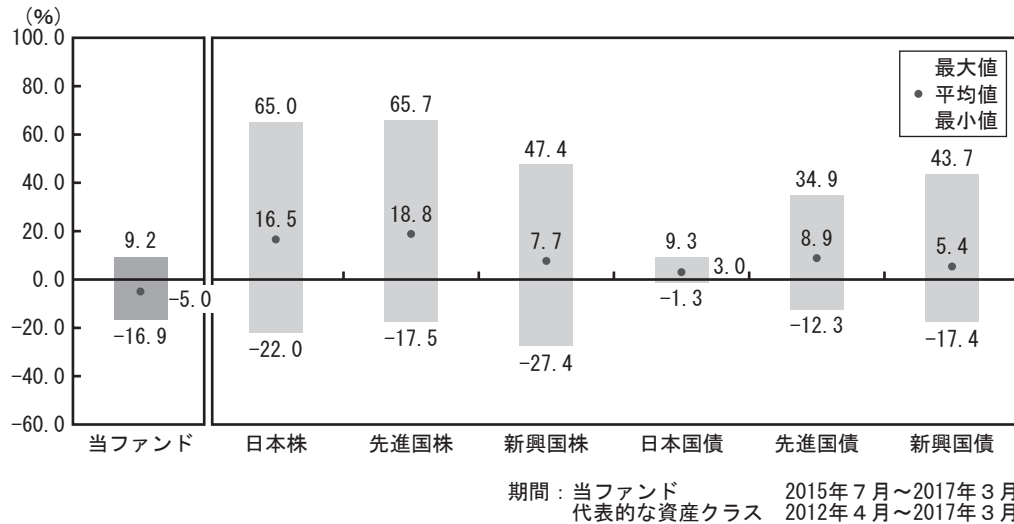
※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

（円ヘッジなしコース）

※当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



*上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*各資産クラスの指数

- 日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI国債
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。
 ※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

○組入ファンド

（円ヘッジありコース）

	第33期末
	2017年4月20日
グローバル変動金利債券マザーファンド	94.8%

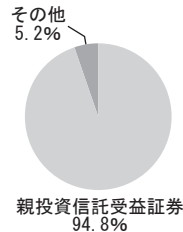
（注）比率は第33期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

（円ヘッジなしコース）

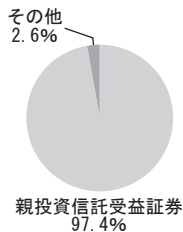
	第33期末
	2017年4月20日
グローバル変動金利債券マザーファンド	97.4%

○資産別配分

（円ヘッジあり）



（円ヘッジなし）



○国別配分

（円ヘッジあり）



（円ヘッジなし）



○通貨別配分

（円ヘッジあり）



（円ヘッジなし）



（注）比率は第33期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

（円ヘッジありコース）

項目	第28期末	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末
	2016年11月21日	2016年12月20日	2017年1月20日	2017年2月20日	2017年3月21日	2017年4月20日
純資産総額	54,538,248円	54,843,218円	54,936,321円	54,898,176円	58,059,549円	37,746,638円
受益権総口数	56,209,309口	56,229,305口	56,246,008口	56,261,873口	59,477,300口	38,742,004口
1万口当たり基準価額	9,703円	9,753円	9,767円	9,758円	9,762円	9,743円

※当作成期間（第28期～第33期）中における追加設定元本額は3,345,522円、同解約元本額は20,751,193円です。

（円ヘッジなしコース）

項目	第28期末	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末
	2016年11月21日	2016年12月20日	2017年1月20日	2017年2月20日	2017年3月21日	2017年4月20日
純資産総額	45,743,583円	48,073,530円	47,507,751円	46,599,706円	46,683,666円	45,409,652円
受益権総口数	48,787,999口	48,742,016口	48,464,703口	48,483,554口	48,502,798口	48,522,034口
1万口当たり基準価額	9,376円	9,863円	9,803円	9,611円	9,625円	9,359円

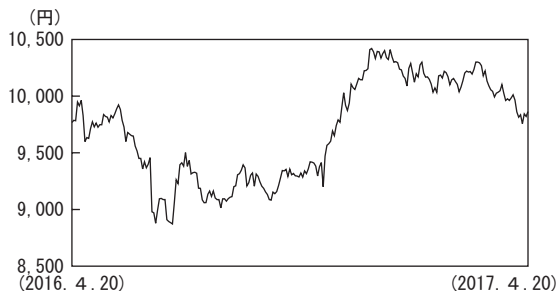
※当作成期間（第28期～第33期）中における追加設定元本額は116,411円、同解約元本額は361,708円です。

■組入上位ファンドの概要

※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<グローバル変動金利債券マザーファンド>

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

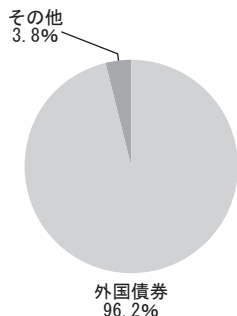
(2016年4月21日～2017年4月20日)

項目	
その他費用 (保管費用) (その他)	2円 (1) (0)
合計	2

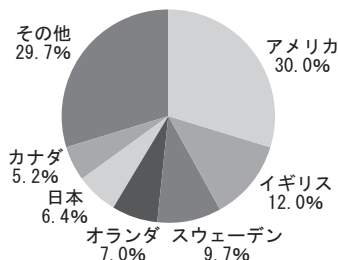
○組入上位10銘柄

	銘柄名	債券種類	通貨	償還日	比率
1	JPMORGAN CHASE FLOAT 2017/05/30	社債券	イギリス・ポンド	2017/5/30	5.1%
2	HBOS PLC Float 2017/09/06	社債券	アメリカ・ドル	2017/9/6	4.0%
3	BANK OF AMER CRP Float 2017/06/28	社債券	ユーロ	2017/6/28	3.8%
4	MORGAN STANLEY Float 2019/01/24	社債券	アメリカ・ドル	2019/1/24	2.7%
5	SWEDBANK AB 5.5% 2020/03/17	社債券	アメリカ・ドル	2020/3/17	2.4%
6	CITIGROUP INC FLOAT 2017/5/10	社債券	ユーロ	2017/5/10	2.4%
7	MITSUB UFJ LEASE FLOAT 2019/07/23	社債券	アメリカ・ドル	2019/7/23	2.2%
8	COOPERATIEVE RABOBANK U A 2020/06/29	社債券	ユーロ	2020/6/29	2.1%
9	DANSKE BANK A/S FLOAT 2022/04/06	社債券	ユーロ	2022/4/6	2.1%
10	ROYAL BK SCOTLND 8.625% 2021/08/15	社債券	アメリカ・ドル	2021/8/15	2.0%
組入銘柄数				76銘柄	

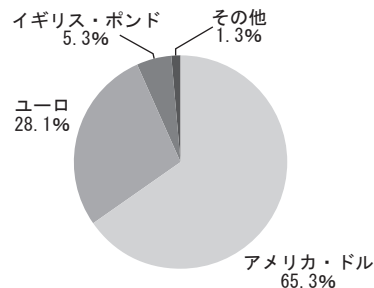
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については3ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2017年4月20日）現在のものです。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI 国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

J.P. Morgan GB I-EM グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。



損保ジャパン日本興亜
アセットマネジメント